

MW(ムウ) (2) (小学館文庫) (文庫)



[MW\(ムウ\) \(2\) \(小学館文庫\) \(文庫\) 下载链接1](#)

著者:手塚 治虫

出版者:小学館

出版时间:1995/2

装帧:15 x 10.6 x 2 cm

isbn:9784091920058

▼第1話/協力者▼第2話/邂逅▼第3話/標的[ターゲット]▼第4話/封じこめ▼第5話/アラベスク▼第6話/倒錯▼第7話/エピソード▼第8話/仮面の訪問▼第9話/R基地に悪魔がきた▼第10話/人質▼第11話/破滅への出発▼第12話/最後の賭●登場人物/結城美知夫(関都銀行新宿支店勤務・男女の区別ない変装と明晰な頭脳を駆使し、毒ガス「MW」を世界にばらまこうと画策する)、賀来(神父・結城とはホモセクシュアルな仲であり、彼への愛と自分の信仰との板挟みになって苦悩する)。●あらすじ/16年前の「MW」事件を告白しようと、日本新聞社を訪ねた賀来。彼はそこで社会部記者の青畑に会い、一部始終をぶちまける。青畑は賀来に協力を約束し、沖ノ真船島で調査を行なった結果、「MW」は現在東京近くの駐留軍基地にあることを突き止める。それを知って愕然とする賀来だったが、そこに「結城が倒れた」との知らせが入り、彼は教会を飛び出して結城の勤める銀行へ向かう(第1話)。▼結城は薬物中毒のような症状、すなわち「MW」の後遺症で倒れていた。結城は救急車で病院に運ばれ、賀来は病室の外で結城の容体を気遣うが、そこに政治家・中田英覚の娘が現われる。彼女は何と、すでに結城と婚約していたのだ。さらに、結城のマンションで暮らす谷口澄子も現われその場は大混乱に陥る。そのころ、「MW」の記事の草案を書き上げた青畑は賀来のもとに向かうが、その途中で見知らぬ男たちに襲われる(第2話)。●本巻の特徴/第2巻では、「MW」の黒幕である中田英覚を着々と追い詰める結城と、結城への愛情を断ち切り、結城の前に立ちはだかる賀来、そして衝撃の結末が描かれている。●

その他の登場キャラクター/青畑記者(第1、2、4話)谷口澄子(第1、3、4、5、13話)、目黒検事(第1、4、8、9、10、11、12、13話)、中田英覚(第2、3、4、5、6、8、9、11、13話)、中田英覚の娘(第1、5、6、8話

作者介绍:

目录:

[MW\(ムウ\) \(2\) \(小学館文庫\) \(文庫\) 下载链接1](#)

标签

耽美

漫画

日本

BL

评论

[MW\(ムウ\) \(2\) \(小学館文庫\) \(文庫\) 下载链接1](#)

书评
